

# 市民と市長の対話集会

## 第66回

### タウンミーティング記録集



平成25年4月20日(土曜日)

会場 多摩湖ふれあいセンター

時間 午前10時～正午

東村山市

## ○開催内容

平成25年4月20日（土）午前10時、多摩湖ふれあいセンターにおきまして「タウンミーティング」を開催しました。24名の方にご参加いただき、ご意見をうかがいました。

## ●会場アンケート結果（住所地・年齢・性別について）

アンケート用紙は会場入り口で配付し、うち16枚を回収しました。

### ・アンケート回答者の住所地

多摩湖町	11人
その他市内	5人
合計	16人

### ・年齢

20代以下	1人
30代	0人
40代	2人
50代	5人
60代	1人
70代	5人
80代以上	2人
合計	16人

### ・性別

男性	11人
女性	5人
合計	16人

## ○開催情報

●対象 市民の方（在勤・在学の方含む）

●申込み 申込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。

（手話通訳・要約筆記が必要な方は、開催日の1週間前までに

FAXまたは電話またはEメールにてご連絡ください）

連絡先：東村山市役所 市民協働課 電話/(393)5111 fax/(393)6846

Eメール/kyodo@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

開催日	会場	時間
平成25年6月15日（土）	廻田公民館	午前10時～正午
平成25年7月23日（火）	地域福祉センター	午後2時～4時

★7月のタウンミーティングは、夏休み特別企画として中高生を対象に開催を予定しております。

# タウンミーティング記録（概要）

会場での発言内容は発言要旨を記録し、個人名は伏せさせていただきました。

## 【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。本日は4月の下旬ですが、また冬に逆戻りしたような寒い中、また何かとお忙しい中にも関わらず、多くの市民の皆さんにご参加いただきましてタウンミーティングが出来ますことを心より厚く御礼を申し上げる次第でございます。

また、常日頃は市民の皆様には市政推進にあたりましてご理解・ご協力をいただいておりますことを、この場をお借りいたしまして心より感謝、御礼を申し上げるところでございます。

市民の皆さんとの対話集會も、回を重ねて66回目となりました。市長に就任した年の10月から実施させていただいて、毎月1回13町を回りながら開催させていただいているところでございます。今日も多摩湖ふれあいセンターをお借りして、多摩湖町の皆様を中心にまちの問題あるいは市全体の問題について意見交換をさせていただきたいというふうに思っております。いつも地元の方に司会をお願いしておりまして、今日は多摩湖ふれあいセンター市民協議会の会長をお務めいただいております多摩湖町在住のAさんに司会をお願いしているところでございます。Aさんどうぞよろしく願いいたします。

恐らく後ほどご意見・ご質問が出るだろうと思うのですが、ここのところ降って湧いたように多摩湖町の皆様にはあまりよろしくない出来事やニュースが多くて、大変心苦しく思っております。1つは3月16日の西武鉄道のダイヤ改正で、これまで西武遊園地駅から西武新宿駅に直通の急行があったのですがそれが廃止になってしまったということで、市民の方からいろいろ苦情をいただいたり、議会でも議員さんからもご意見を頂戴して、その都度西武鉄道にはお伝えしているというような状態でございます。その後、今度は西武鉄道の筆頭株主でありますサーベラスという会社が今回のTOBに関連して西武鉄道の5つの路線を廃止したらどうかというような提案をされたという報道がございまして、その中に多摩湖線・国分寺線・山口線と東村山市に関連する3路線も含まれていたということで、「これは大問題だ」ということで早速沿線の他の自治体とも図りまして、今、西武鉄道あるいは国や東京都に対して働きかけをさせていただいているところでございます。後ほどご質問いただければその辺も詳しくご説明を申し上げたいなと思っております。いずれにしましても市にとっては非常に重要な路線でありますし、多摩湖町の方々のみならず、市民にとっては日常の大切な足でありますので、なんとしても東村山市に関連する西武鉄道の路線の継続をこれからも出来るように、全力で今取り組みをさせていただいているところでございます。

その他、いつも多摩湖町に来ますと駅のバリアフリーの問題、それからグリーンバスの導入の問題等々、課題があるんですが、まだその辺については実現が出来ておりませんので、今後、鋭意努力をして何とかご要望にお応え出来るように努めていきたいと考えているところでございます。

今日はそれらの問題も含めてお気軽に日常感じておられること、お困りのこと、あるいは「こうしたらもっといいまちになるのではないか」というご提案を含めて忌憚のないご意見をいただければと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

## 【会場でのご意見】

～みんなが快適に暮らせる、活力と魅力にあふれたまち～ について

### ◆市制50周年に向けて

(野口町 Kさん)

来年の市制50周年について、市からはいろんな考えやイベントに各所からあるいは市民への協力等をされることになると思う。私はボランティア活動団体に入っていて、その中でもいろいろなアイデアが出てくるがなかなか実を結ばないということがあり、来年の50周年にかけて何か出来ないか。あるいはお手伝い出来るのが団体あるいは個人としてあるのではないかと考えている。50周年にかけて各所をあたっているが、こういうことをどこに申し出たらいいのかまだよくわからない。今日参加されている方々にも「こんなことをやって欲しい」や「周年の行事ということだけでなく、これをきっかけにこういうことにならないか」というアイデアをお持ちの方もいっぱいいると思うが、まず窓口を一本化して欲しい。どこに行ってもいいのかわからない。例えば文科系等であれば直接歴史館に行けばいいのか？ということになるが、それをまた教育関係なり何なりとややむやになっていいアイデアがなくなってしまうというようなこともあるんじゃないかと思う。子育てなら子ども分野、福祉なら福祉の分野、産業なら産業の分野ということではなく、どこか1つの窓口にまとめて欲しい。それと人員的にも配置して欲しい。片手間でやれよというのでは「来年だからまだ考えなくてもいいよ」となってしまうのが見えてくる。市の予算を組む9月か10月ぐらいまでにそういうのがないと予算化出来ないと思う。早めに市報やHP等で市民に呼びかける。「8月末までなら受け付けるがそれ以降は予算が組めない」ということぐらい切羽詰ったような状態で話をしてもらわないといけないと思う。ぜひそういう窓口や市民とマッチングするような話し合いや会合を持つような動きをして欲しい。

#### ◎ 市長回答 ◎

Kさんから来年に迫りました市制施行50周年についてどうなっているのかということでご質問・ご要望をいただきました。まず今の段階での市役所の取り組みについては先般、市報にも掲載させていただきましたけど、私を本部長として全部長が参加する『東村山市市制施行50周年記念事業実施本部』というのをまずつくりまして、その下部に実際の作業をする部会を設置しております。部会は現在、現課で仕事をしながらなんですが、課長補佐や係長クラスの若手中堅の職員が集まっているいろいろなアイデアを練っているところであります。

基本的には2つのチームに分かれていまして、広報チームと企画チームということで、広報については50周年を市民の皆さんにいかにアピールするかという広報戦略を練って実際にやるということで、こちらは市制50周年に併せて市のキャラクターをつくらうということでキャラクターの募集をさせていただくことにいたしました。今、ゆるキャラブームで先日も東大和市で「うまべえ」というキャラクターをつくったというのが新聞に出ていましたが、今まで市の正式なキャラクターというのはなくて、商工会のほうでおつくりになった菖蒲まつりのキャラクターで「しょうちゃん」というキャラクターしかないので、東村山市を象徴する、そういった市民の皆さんに親しまれるようなキャラ

クターをつくってそれをマスコットアイテムとして多くの方に50周年ということを周知していきたいと考えています。

それから企画のほうはいわば50周年で行なうイベントの企画検討チームということになりまして、一応いくつかのイベントを考えています。1つは通年行っている産業まつりや市民大運動会というのは全て冠事業で、どこまで+α出来るかわかりませんが『祝50周年』という冠をつけさせていただいて行なっていくということがあります。それと50周年に併せて今3層ぐらいの行事を考えています。1つは記念式典に併せて50周年まつりみたいなことが出来ないかということを検討しています。それから独自に何か、例えば30周年の時はのど自慢を誘致したり、ラジオ体操を誘致したり、あと平成5年に『TAMA らいふ21』事業の地域企画プログラムとして正福寺の前で人間国宝の野村万作さんに狂言を踊っていただいたり、そういう何かイベントをいくつか市のほうで素案を企画して協力いただける市民の皆さんを募って一緒に行うというスタイルで考えています。それともう1つは公募型のイベント。これは企画から運営まで全て市民の方にやっていただいて、市はそこに補助金を交付させていただくというパターンのイベントをやろうかなと考えているところです。ただ当市は以前ほど危機的な状態ではないけれどもそれほど余裕のあるまちでもないのです、どの程度予算組みが出来るか具体的にはわかりませんが、今のところそんなかたちで考えています。事務局は経営政策部の企画政策課になりますので、もし何かあれば企画政策課のほうにお出でいただくということをお願いしたいと思います。時期はまだ明確に定まっていらないのですけれども、市民公募型の事業も今検討している最中ですので、然るべき時期には市民の皆さんからアイデアを募って来年イベントをやっていたくようなかたちをとりたいと考えています。

\*TAMA らいふ21…多摩地域(北多摩郡・南多摩郡・西多摩郡)の神奈川県から東京府編入100周年を記念して、平成5年4月から11月まで立川市を中心に開かれたイベント。

#### ◎ 企画政策課より ◎

市民の皆さまへの呼びかけとして、検討中のものも含めて、現在行っているものには、以下の取り組みがあります。

〈推進部会〉

・ご当地キャラクターデザイン案募集(4/22～5/19、別途小・中学校に4/17～5/17)

※6月下旬には市民総選挙を実施予定

・事業計画案への市民アイデア募集

※どのような形式での意見募集となるかは現段階で未定(5～6月に実施予定)

〈各所管〉

・「東村山50景」の選定委員募集(都市計画課)

今年度は事業計画を策定し、その中で、市民公募事業枠を設けるほか、実行委員会の発足も視野に入れて検討を行っていきます。

今後も、市報やホームページを通じて50周年記念事業に関する情報をお知らせしてまいります。

## ◆西武鉄道に関連した課題について

(多摩湖町 Sさん)

冒頭2つ西武鉄道に関することをご案内いただき、また報道で『西武鉄道国分寺線・多摩湖線沿線連絡協議会』の立ち上げ、意見表明や国土交通省への申し入れ等を拝見し、嬉しく思っている。

今後の活動について具体的な軸や、どんなことを取り組んでいくのかお聞きしたい。市報で市長も期待されているが住民の協力等を要請していると思うので、私ども住民も協力は積極的にしたいと思っている。署名活動等あったらぜひ手伝いたい。

関連して、急行西武新宿行きの廃止というのは若い世代に対しても非情な話。路線廃止反対運動の影に隠れて既成事実にならないよう市長には取り組んでいただきたいので、よろしく。

### ◎ 市長回答 ◎

時系列的にこれまでどんな取り組みをしてきたかご説明を申し上げさせていただきたいと思います。

3月26日に西武ホールディングス社長の後藤さんが記者会見を開いて、筆頭株主であるサーベラスから国分寺線・多摩湖線・山口線、それから多摩川線・秩父線の5路線の廃止、それから埼玉西武ライオンズ球団の売却、それから西武社員の方のリストラというのでしょうか、削減等々の提案があったということを明らかにされました。市としてもこれは由々しき問題だということで、ただ1市で動いてもどうかということで、当市に特に関わる多摩湖線それから国分寺線の沿線であります東大和市、小平市、それから国分寺市に声をかけさせていただいて、3月29日に『西武鉄道国分寺線・多摩湖線沿線連絡協議会』という4自治体で構成される協議会を立ち上げさせていただき、即日、意見表明ということで記者会見を開かせていただきました。

その後4月3日に西武本社にお邪魔しまして、西武ホールディングスの後藤社長それから西武鉄道の若林社長と面談させていただきまして、「沿線自治体としてはぜひ存続していただきたい。廃止というのは言語道断だ。」というお願いをしてきたところでございます。後藤社長それから若林社長からも「西武としては、現経営陣は廃止は一切考えていない」ということで「ぜひ自治体の皆様にも協力をいただきたい」というお話をいただいたところでございます。

その後4月15日に東京都庁にお邪魔して、安藤副知事と面会しまして、これまでの経過についてご報告させていただくとともに都内の路線も多摩川線を入れますと3路線が廃止にあがっているので、東京都としてもぜひ我々の活動に理解をしていただいて、都としても西武鉄道やサーベラスあるいは国への働きかけをしていただきたい旨のお願いをしてきたところでございます。

市も都もTOBに関しましては民間企業同士の問題ですので、どこが株をどういうふうを取得するとかしないとかということについては口を挟む立場にはないんですけども、経営主体がどうかたちになってもなんとしても路線は堅持していただきたいということで東京都とも意見が一致して、今後一緒になって活動していこうとかたちにさせていただきました。

それから4月17日に小平の市長さんは都合が悪かったので市長3人で国土交通省にお邪魔しまして、鶴保副大臣それから政務官、鉄道局長等々に面会をさせていただきまして、鉄道事業というのは基本的には国の認可事業ですので、ぜひ国としても廃止されないよう法規制を含めてお願いしてまいったところであります。実は鉄道事業法をみますと、鉄道事業というのは開始する時は大臣の認可なんですけど、やめる時は1年前に大臣に届け出をすれば良いことになっておりまして、届出制ということなので、そこをつかれると廃止されないとも限らないので、我々としてはここも自治体の同意を前提として、廃止をする時も大臣の認可を必要とするような法規制をして欲しいという

お願いをしてきたところでございます。

ただ国のほうもつい最近、和歌山県で廃止になった路線があるそうなんです、1日の乗降客数が50人不足というような線で、しかも代替でバスも同じところを走っているところだったそうなんです、それでも廃止となると大騒ぎになって大変だったというお話をされていて、国としても1日に何万人も利用されている多摩湖線や国分寺線を廃止することは想定していないというようなお話でございました。今TOBの期間中ということで国としてもあまりそのことに介入するようなことは出来ないの、推移を見守りながら、ただ市長さん達のご意向はよくわかったので、しっかり受け止めて頑張っていきたいという力強いご発言をいただいたところでございます。

今後につきましては、今、筆頭株主であるサーベラスが言ったとか言わないとかいろいろな報道がされていますので、真意はどうか確認をしたいと考えています。TOBが成立するのかわかりませんが、仮に保有株の比率が44.67%までいったとしてもぜひ路線は存続していただくようお願いしようということで、今サーベラス側に面会を申し入れているところでございます。サーベラスが路線廃止ということにはこだわらないと言っているのが本当であれば、その後は推移を見守っていきたいと思いますし、その辺が不明確なままであるとやはり市民の皆さんが不安でありますので、所沢市のように皆様に署名をお願いするかどうかというのはもう少しお時間いただいて検討させていただきたいと考えております。

もう一つ取り組んでいきたいと考えているのは、西武鉄道も認めています乗降客数が減少傾向にあるのは間違いないということでもありますので、沿線4市で地域を活性化することで多摩湖線・国分寺線の乗降者数を出来るだけ増やす。そのことで今後も引き続き継続して路線を堅持いただけるように、我々としても地域間の交流等いろいろなイベントや活動等を通じて沿線全体を盛り上げて、サーベラスや株主、あるいは西武の今の経営陣にも「この路線は絶対に残しておいた方が企業としても価値があるな」と思ってもらえるような取り組みを展開していきたいと考えているところでございます。

それから3月16日のダイヤ改正につきましては、東村山市にとっては全体としてプラス面とマイナス面、両方ございます。新宿線につきましては3月16日から東村山駅が特急停車駅になったということで、我々としても待ち望んでいたことなのでこの点では大変良かったと思っております。西武鉄道によると、東村山駅の停車ですごい効果が出ていると聞いております。一方、多摩湖線については、本数は増便になったんですけども、もともとの多摩湖線の路線であります西武遊園地駅から国分寺駅まで行く線が中心になってしまいました関係で、直通の急行が廃止されるということになってしまっております。多摩湖線全体では本数が増えたという意味でプラスになった部分もありますが、急行がなくなってしまったというマイナス部分もありますので、そこは市としても市民の皆さんの声をその都度西武のほうにはお伝えをさせていただいているところでございますが、今日のタウンミーティングを踏まえて市としても正式に急行復活をお願いしていきたいというふうに私としては考えているところでございます。

## ◆西武鉄道に関連した課題について（その2）

（多摩湖町 Sさん）

毎朝、通勤に西武鉄道を使っていて、急行がなくなったことでも大変不便だったし、これで廃止となったらとても困る。これから乗車人数を増やすために市で具体的に何かあれば伺いたい。

### ◎ 市長回答 ◎

まだ具体的なものは無いんですけども、先ほど申し上げたようにとりあえず国分寺市、小平市、東大和市と4市で沿線連絡協議会をつくりまして、まずこの沿線の中の交流を増やせないかということをおきながら、何か4市で一緒に取り組めるようなことがないかどうかの検討作業をこれから始めていくという段階です。先ほど市制施行50周年の話がございましたけれども、実は東村山市と国分寺市が同じ年に町から市になっていまして、国分寺市さんも来年市制施行50周年なんです。なので、出来たら記念で鉄道を使った何かイベントが出来ないかなというようなことを今発想しているところであります。お互いに沿線の中で行き来を増やすようなかたちをまず考えていく必要があるのかなと考えているところです。それと中央線沿線から国分寺線を使って東村山駅に来られると、今度は東村山駅から特急を使って川越のほうまで行けるようになりますので、そういった地域間交流が進められないかということをおきながら今検討しようとしているところであります。

いずれにしても多摩湖町には豊かな自然、それから東京都の狭山公園等もありますので、以前にも地元自治会の方から「例えば貯水池の堤防に芝桜を植栽して、もっと人に来ていただけるようなことをしたらどうか」というようなことをご提案いただいたことがあるので、実現できるよう精力的にお願いして、出来るだけ電車を使って多摩湖町にお出でいただけるようなことを少し考えていきたいと思っております。また若い方からも「こういうふうにしたらもっとこちらのほうに人が来なくなるんじゃないか」というような提案をいただければそれを実現させていきたいと思っております。来るのには出来るだけ車ではなくて電車を使っていただけるようにしないとならないと考えていますので、また議員の皆さんにもいろいろお知恵をいただきながらそういった仕掛けをいくつか考えていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

## ◆西武鉄道に関連した課題について（その3）

（多摩湖町 Kさん）

市長が積極的に西武鉄道にいろいろ交渉してくれているという話を今日伺い、感謝している。一方で交渉にあたっては交渉すべき説得材料というのが必要になってくると思う。市長がどの程度我々が急行を必要としているという説得材料をお持ちなのか正直わからない。そういう市民の声を伺うような、我々の声を市長に伝えられる方法を検討いただきたい。あと実際にいろんな方々が出した意見を我々が自由に閲覧出来るような方法を構築して欲しい。検討のほどよろしくお願ひしたい。

### ◎ 市長回答 ◎

説得材料ということなんですけど、急行を復活するために市として西武を説得しきれだけの材料というのは正直言ってあまりないのかなと思っておりますが、多くの市民が望んでおられるということなので、路線の廃止のこともありますけど、急行復活に向けて「多くの市民」というのは実際どの程度なんだということであれば、例えば署名等をいただくとかというのが1つあるのかなというふうに思



っております。ただ西武も今の経営陣は「路線の廃止は絶対しない」と断言して「ぜひ自治体の協力を」「沿線市民の皆さんの協力を」ということはおっしゃっておられますので、今度は沿線存続について市として西武さんに協力をするわけですから、そこでバスターではないんですが「ぜひ急行の復活をしていただきたい」というやり方もあるかなと思っています。ただやはり市としても観光開発するとか、今後少し知恵を絞ってその展開を考えていきたいと思っています。

それから市民の皆さんからのご意見については、タウンミーティングや市長への手紙・Eメール・FAXというようなかたちで意見をいただくことは出来るんですけども、ご指摘のように確かにどんな意見があったのか他の市民の皆さんがどういうアイデアをお持ちなのかということについては他の市民の方が見たり聞いたり出来る状況にはなっていませんので、そこは新しい仕掛けで、例えばSNSを活用したような市民の皆さんからのご意見聴取みたいなことを考えていく必要があるのかなと思いました。

#### ◆西武鉄道に関連した課題について（その4）

（多摩湖町 Sさん）

今、西武園線や多摩湖線は15分とか20分に1本というような運行を長いこと繰り返している。ほとんどが4両編成で運行していると思うので、例えばこれを3両とか2両とかにして浮く電力料金で本数を増やしてもらって、10分に1本とかになれば電車でちょっと買い物に行ってもすぐに戻ってこられる。20分に1本ぐらいたと行って帰ってくるだけでもすぐに1時間くらい費やしてしまっただけというところもあろうかと思うので、西武線を利用する頻度も減るのではないかなと思う。

それから今こんな問題になって西武鉄道はそんなに困っているのかなと思って話を聞いていたが、西武園駅と西武遊園地駅を繋いでミニ山手線のように走らせたなら利用頻度も上がるのではないかな。

それと高齢化でだいぶ年寄りの人口が増えてきて、以前から早くエレベーターかエスカレーターを設置して欲しいとお願いしているが、これも車両を減らして浮いた電力料金で設置できないか。1日の乗降者数が2000人以上でないとエレベーターやエスカレーターがつかれないと聞いたが、公共性の強いものなので、人口密度の低いところに住んでいる人達は生涯バリアフリーの恩恵を受けずに終わってしまう。ぜひこの辺も考慮していただいて、お力添えをお願いしたい。

#### ◎ 市長回答 ◎

3月16日のダイヤ改正で私も具体的に細かくは把握していないんですけども、西武新宿に直通で行く急行については廃止になりましたが、一方で国分寺に行く多摩湖線の本数は時間帯によっては増便になっているというふうに聞いております。ただ日中は以前どおり15分とか20分に1本のままなんだろうというふうに思います。先ほどから「急行の復活を」ということをかなり多くの方からご意見いただきましたので、その辺も含めてまた改めて西武のほうに粘り強く要請をさせていただきたいというふうに考えているところでございます。

ただ西武遊園地駅と西武園駅を今から繋ぐというのはかなり難しいかなといわざるを得ないのではないかなと思いますが、駅のバリアフリー化については市の実施計画の中では西武園駅について何とか進めていきたいということで西武と交渉させていただき予定にしております。市内には9つ駅があるのですが、昨年度、久米川駅にはエレベーターが設置できまして、まだバリアフリー化されていないのが西武園駅と西武遊園地駅ということで多摩湖町の駅が残ってしまっています。基準からいうと1

日の乗降客数の問題等もあって今までなかなか着手に至らなかった経過があるんですが、市内全域を何とか出来るように市としてこれからも努力していきたいと考えています。バリアフリーについては鉄道事業者と国が1/3ずつ、残りの1/3を東京都と地元自治体が折半するという事なんですが、武蔵大和駅の場合は利用者が東大和市民も多いということで、さらにその半分を東大和市さんに出していただいて実現できたというところであります。今後、西武園駅や西武遊園地駅もバリアフリー化するとすると、お隣の所沢市さんや東大和市さんにもご負担いただけるようお願いをしていきたいというふうに考えているところでございます。

それと西武がそんなに困っているのかということなんですけれども、西武さん自身は路線を廃止する気は全くありません。西武の今の一番の株主であるサーベラスというアメリカの会社から「廃止をしたらどうか」というような提案がされているとの報道はありました。繰り返しになりますが、西武としては多摩湖線・国分寺線、それから山口線、あるいは西武園線等々について廃止する気は毛頭無いということはおっしゃっておられるので、そこは我々としても信じてとにかく存続できるように努力をしていきたいと思っておりますし、今ご提案あったように更なる充実を図る一方で、市としても観光開発等をしながら何とか乗降客を増やす努力もしていきたいと考えております。

## ◆鉄道事業の代替案について

(秋津町 Aさん)

鉄道の場合、地方のローカル線とかで存続等の問題が出た時に、例えば新幹線が出来ると並行在来線の第3セクター等がある。西武鉄道はどうなるかわからないが、例えば鉄道存続するにしても西武鉄道は出来ないの第3セクターでやるとか、上下分離で線路は自治体が持って運行は鉄道会社がやるとか、鉄道を存続するにもいろいろなやり方がある。今までの話だと国や東京都等とそういう対策をしているということだが、それで納得していいのかなと思う。今度、小平市の都市計画道路の一部についての是非が住民投票されることになった。これはどうなるかわからないが、これが開通すれば代替の道路が出来るのでそこにバスを走らせて替わりになるとか、武蔵野線を代替に新駅をつくるとか、いろんな選択も出てくるので、もしかすると国土交通省等と話した中でそんな話も出てくるのか、それか検討しているのか。第3セクターとか上下分離とかあるいは廃止する替わりにバスターで道路建設のほうをするとか、武蔵野線の新駅というようなことについて「ありえない」とか「選択肢として考えられる」とかということをお聞きしたい。

### ◎ 市長回答 ◎

先日来、私どもが国にお願いしているのは、あくまでも西武鉄道の路線としての存続ということで、第3セクターとか上下分離とかということは今の段階では全く想定いたしておりません。国も1日に何万人も利用している路線をそう簡単に廃止は出来ないのではないのでしょうかという言い方でしたが、先ほど申し上げたように1日の乗降客数が50人とかというレベルはバス路線を代替でやってもらう、あるいはどうしても自治体が「存続させて欲しい」というのであれば経営主体を第3セクターに切り替えてやる等ということは国としても考えられるということなんだと思うのですが、あくまでも国が想定している公共交通手段としての鉄道の廃止というのは1日の乗降客数が50人とかというレベルを想定しているのであって、先日の新聞の報道によると多摩湖線でも昨年度の平均で1日に16万人くらい利用されている路線ですので、本来的にいうと10万人を超える路線を廃止するというのがど

れだけハードルが高いか。だからサーベラスがなぜそういう提案をしたのかという真意が我々も理解出来ないんですね。西武に「赤字なんですか？」ということ率直にお聞きしましたが、西武としては「トータルで考えているのでこの路線が赤字だとか黒字だということは出していない」というお話でした。西武としても経営効率を上げなければならないということで一部ワンマン運行になったりダイヤの改正等ということも当然そういうことも考えながらやっているのだと思いますが、いずれにしても西武としては「これが赤字なので廃止したい」というようなことを今の経営陣は全く考えておりません。一番少ない秩父線でも1日1万人以上の方がご利用されている路線ですので、国の副大臣や政務官、局長クラスの方々に会った感触としては「これらを廃止するというのは今までの日本の常識からするとちょっと考えられない」というような感触で、「なぜこういう話が出てきたのか」というような雰囲気でしたので、まだ第3セクターだとか上下分離だとかバス輸送に切り替えるとか、そういうことは今の段階では全く想定はされていないとご理解いただければと思います。

## ◆市内の道路整備について

(多摩湖町 Sさん)

高齢なので散歩が日常生活の主体を占めるという感じで数年が過ぎている。せいぜい10～20mの距離と思うが、道が急に狭くなっているところがある。例えば1年間に1箇所、10mなり改修していけば10年間で10箇所改善できると思う。地権者との問題もあり、なかなか大変な問題と思うが、少しずつでも市民が出歩きやすいように解決できれば。何回かヒヤットすることもあったので、お年寄りにも出歩きやすいようご尽力いただきたい。

### ◎ 市長回答 ◎

残念ながら東村山市は道路整備が遅れておりまして、ご指摘のとおり狭い道路が多くございます。しかも歩道と車道が分離されていない道路がほとんどで、実は昨年の4月に京都府亀岡市で通学中の児童生徒の列にスピードを出し過ぎた車が突っ込んで多くの子ども達と保護者の方もお一人亡くなられるという大きな事件がございまして、市でも議会で毎定例会ごとに道路の安全、特に通学路に指定されている道路の安全についてだいぶご指導いただいたり、あるいは国や警察からの通達もあって、昨年は各学校の全ての通学路について安全点検をやらせていただいたところでございます。危険箇所が市内全部合わせますと49箇所ありまして、そのうちの大半については応急的な手立てを取ったところでございますが、やはり危険なところはちゃんと道路を広げて歩道をつけていくということが根本的な解決なんです、ご指摘にもありましたように相手のあることなのでなかなかすぐには出来ないところがあります。市としては車両あるいは歩行者の交通量の多い生活道路について、かなりの箇所がありますけれども市内で順番を決めながら出来るところから少しずつ拡幅整備をするということで進めさせていただいているところでございます。あと信号機や横断歩道の設置というのは警察の管轄になるんですが、そういったものについてもお願いさせていただいて、出来るだけ安全に歩行ただけるように努めているところであります。最近、西武園駅のT字路のところによりやく信号を設置していただきました。あそこは交通事故があって残念ながら高齢者の方がお亡くなりになったところなので、なんとかすぐに設置をして欲しいということで警察のほうにお願いをして参りまして、先般、設置いただけたところであります。今後も危険箇所については出来るだけ交通安全施設の設置、場合によっては道路の拡幅、歩道の設置に努めて参りたいと考えているところでございます。具体的にこ

の場所が危険だということがありましたらご指摘いただくとありがたいかなと思っております。

◎ 道路管理課より ◎

道路管理課といたしましては、実施計画に基づき、道路拡幅整備による道路整備を進めております。また同時にグリーンベルトなどの交通安全対策も行っております。

◆いきいきプラザについて

(恩多町 Mさん)

いきいきプラザは老人福祉・障害者福祉・その他福祉を扱っているが、少子高齢化社会の絡みで福祉を充実してくれという市民の声があったのか。あったとすればそれが理由であるような建物が建ったのか。

◎ 市長回答 ◎

いきいきプラザについてお尋ねいただきました。いきいきプラザは平成15年1月に開設されて、10年ほど経つ施設です。一応、市の庁舎の一部ということですが、ご指摘のように1階部分は全て福祉セクション、高齢者福祉、障害者福祉、保育園の受付等の窓口がある児童福祉、それから生活保護の方の窓口等が入っています。2階部分は健康課が入ってまして、建物の東半分は全て健康診断をするための施設です。以前は母子保健という妊娠から出産して産まれたお子さんの1歳とか1歳半、3歳とかの健康診断の事務を保健所で行なっていたのですが、平成9年に市のほうに移管になりました。市で母子保健をやらなければならないということから健診場所の確保が市でこの間課題になっていました。最初は現在の市民センターの1階部分で行なっていたのですが、あれはプレハブの施設ですし、事務所としての機能がどうかということから平成15年にいきいきプラザを造って、1階部分は福祉部門、2階が保健健診部門、3階は市のコンピューター等を設置している情報のフロアになっておりまして、4階が教育委員会というつくりらせていただいて、それぞれのフロアでお見えになった市民の皆さんが1箇所ですべて用が足りるようなコンセプトで建設されたものでございます。ですので、福祉についての要望が強くてつくったというよりも、保健健診業務を市に移管されたのを安定的に行なう場所を設置する。併せてせっかくつくるのであれば市民の方の利便に供するように福祉の窓口・相談業務は1箇所ですべて用が足りるようという考え方でつくらせていただいたものでございます。

◎ 健康課より ◎

いきいきプラザ建設に当たっては、平成3年からの第2次総合計画、平成8年からの第3次総合計画において、保健・医療・福祉の連携や一体性を持つ拠点施設の整備を位置づけていました。

その後、平成9年4月に東京都から母子保健事業が移管されたことや、急激な少子・高齢化による保健・福祉・子育て支援等の社会情勢の変化や市民ニーズの高まりの中、市民の健康づくりの推進、調整の拠点、保健・医療・福祉の総合的支援や連携の拠点、保健事業の実施拠点として平成15年1月に開館したものです。

◆北川に流れ込む下水をなくして

(野口町 Kさん)

家の前に北川が流れている。4、5年前に比べると綺麗になったが、まだ浄化槽の上澄みが流れてくる。強制は出来ないと思うが、浄化槽を使っている家を調べてもらって、衛生面から下水道への接続が出来ないかどうかの協力を検討して欲しい。

◎ 市長回答 ◎

東村山市は平成7年で全市に公共下水道が敷設されて、基本100%ということになってはいるのですが、ご指摘のとおりたぶん全体の1%とかというレベルだと思いますけれども接続いただけないお宅がいらっしゃるの事実であります。市としても手をこまねているわけではないんですが、未接続のお宅についてはいろんな機会に出来るだけ早期に接続いただくようお願いをしております。しかしながら接続するにあたってはやはり一定のお金もかかるということで、経済的な理由をあげられて接続いただけないところがあるのは残念ながら事実でございます。建て替え等をされる場合には必ず接続いただかざるを得ないのですが、そのままになっているお宅については早期に接続いただけるよう市としても努力したいと思っております。特にそういった上澄み等で臭気とか環境に対して悪影響が出る場合は、大変恐縮ですが市役所のほうに通報いただいて、その都度原因者を調べてそういう時には強く指導して接続していただくようお願いしていきたいと考えております。

◎ 下水道課より ◎

平成25年4月1日現在、水洗化普及率は99%であります。未接続世帯は、現時点で717世帯（浄化槽577世帯・汲み取り140世帯）であります。

当該年度で全ては巡回出来ませんが、順次、各戸に対して啓発活動を行っております。ただ、市長も申している通り、昨今の経済的不安を理由にしたり、古いご家庭では、将来への新築を示唆され接続されなかったり、それぞれの理由があり、未接続状態となっております。しかしながら、ご指摘の通り、北川や他の河川においても、時折、異臭や汚濁に関する情報も寄せられておりますので、引き続き、未接続家屋に対し、積極的に接続して頂けるよう、ご理解とご協力をお願いしてまいります。

## ◆シルバー人材センターの活用を

(多摩湖町 Sさん)

シルバー人材センターに入って関わっている。2月時点で1515人の会員が登録しているが、1年の中でたった1日しか働けなかったという人を入れても1039人しか働いておらず、就業率が68%。それから私が住んでいる多摩湖町だけ見るとシルバー人材センターに登録している住民が70人いる。そのうち就業した人が45人で就業率が64%。シルバー人材センターに登録する時の面接もしているが、以前は「時間的に余裕があるから」とか「健康のため」とか「地域に貢献したい」ということで入ってきてくれた人が多かったが、最近は経済的理由で入る人が増えている。話を聞くと生活保護はなんとしても受けたくない。時給が低くても週に2日しか働けなくても、少しでも自分で収入を得て生活保護を受けない市民でいたいという方も居る。そのことを考えるともう少し何とか仕事をつくらなきゃいけないということで、民間企業に仕事をいただけないかというお願いに行っている。そういう活動もシルバー人材センターでやっているが、ただ公共事業が非常に少なくなっている。公共事業の比率が53%ぐらいで、民間企業が47%ぐらい。立川市や青梅市は公共事業の仕事が70%を超えている。東村山市の公共事業を市内の民間企業ならまだいいが、市外の民間企業に発注している仕事があれば少しでもシルバー人材センターのほうに回して欲しい。駐輪場の管理も外部の企業に取られてしまって、今、本当に厳しい状態。市長はじめ各担当者の努力で何とかあげて欲しい。シルバー人材センターもこのままではいけないということで、学童の見守りにも200人ぐらい参加している。それから皆で道路清掃をしようということで市役所を中心に100人以上が集まってやるとか、今、市報を配っているが、ただ配るだけでなくついでに高齢者のお宅の見守りをしようということで去年の秋から市に協力したりといろいろ努力しているので、その辺を考慮いただいてぜひお願いしたい。

### ◎ 市長回答 ◎

Sさんからシルバー人材センターの就業率が低下して、登録しても仕事に就けない方がけっこういらっしゃるよというご指摘でありました。しかも以前とは違って「経済的に困窮しているのでもなんとしても就労したい」という切実な事情をお持ちで登録されている方が増えているということでもあります。その辺については私もある程度は把握しているつもりであります。シルバー人材センターの皆さんにはいろいろな市の委託事業を精力的に行なっていただいて、大変感謝しているところなんです。今までですとシルバーさんしかお願い出来なかったような分野に様々な民間業者が参入をして参りまして、市としても「シルバーさんだから」といっていわゆる随意契約で全てお願い出来るかという、どうしても競争入札せざるを得ない分野も増えてきているということが一方でございます。基本的に市役所等の地方公共団体は契約に関しては一般競争入札でやりなさいというのが地方自治法の趣旨で定められていまして、シルバーさんしか出来ないというような分野であればシルバーさんに個別に随意で契約することは可能なんです。駐輪場の管理のような業務は今いろんな会社がやるようになってきていますので、実は東村山駅それから久米川駅の地下駐輪場をつくらせていただいた時からプレゼンテーション方式で管理者を選定しているところです。いわゆるプレゼンテーション方式でご提案いただいた時に、提案内容や金額面を審査した結果、やむを得ず民間事業者のほうに駐輪場

をお願いしたという経過がありまして、それからシルバーさんの仕事がだいぶ少なくなったということは承知いたしているところでございます。今後、市役所で何かお願い出来るようなものがないか少し探してみて、リタイヤされた後の高齢者の就労ということも非常に重要なテーマだと思っておりますので、進めさせていただきたいと考えているところでございます。その他、社会貢献ということで高齢者や学童の見守り等いろいろななかたちでボランティアいただいていることにも心から感謝申し上げたいと思います。ご指摘いただいた点を踏まえてもう一度委託出来るものがないかどうか洗ってみたいと思いますので、よろしくをお願いします。

◎ 高齢介護課より ◎

シルバー人材センターの認知度を上げるための取り組みとしては、チラシの全戸配布を年3回実施、事業所への営業活動、会員による近所の家庭への営業活動、産業まつりでのブースの設置、アンケート等を実施しており、周知活動については、かなり取り組んできています。市への取り組みとしてもシルバー人材センターの事務局長を中心に各課への働きかけを行っています。今後も市とシルバー人材センターとの協議の場を持ち、需要を拡大していく方法を展開していきたいと考えております。

## ◆東村山市の子育て施策について

(秋津町 Sさん)

市長がいつも言う「子育てするなら東村山」とは何を根拠に言っているのか。詳しく説明を。

◎ 市長回答 ◎

ご案内の通り日本は今、人口減少時代を迎えていまして、国全体でも前年に比べて28万人口が減るというような状況であります。首都圏でも人口減少している自治体が出てきておりまして、福生市さんは平成14年からじわじわ減っているというような状況です。実は東村山市も平成23年7月が15万3500人ほどだったのですが、この時をピークに今ちょっと人口が減りつつありまして、今まで東村山市の人口増を牽引していた他所からの転入による増がやや鈍化してきたのと、自然減が増えてきているという状況です。自然減というのは端的に言うと住民の方でお亡くなりになる方が増えてきているということで、自然減が増えて社会増が鈍化することで人口がちょっと減り気味になっています。今後の持続可能な自治体というものを考えると、バランスの取れた人口構成になっていないと厳しいのかなというのが率直にあって、人口増までいくかどうかは別としても、特に子育て世代の流入を増やしていくことがまちづくりにとっては非常に重要ではないかということから、これからの東村山は「子育てするなら東村山」と言えるようなまちを目指していこうということでこの間、唱えさせていただきました。東村山は自然環境からすると非常に恵まれているところだというふうに思っておりますし、ちょっと道路等の都市基盤の遅れはありますが、自然災害等も非常に少ないまちですので、こういう良さをアピールしながら子育て支援の様々な施策を充実させることによって、子育てファミリー層の皆さんに東村山市にお住まいになっていただきたいということでやっているところです。

この間、財政的にも非常に厳しかったんですけども、1つには保育園の待機児解消ということで、私が市長になってから認可と認証を合わせますと保育園の定員数を452名増やしてきました。今年、廻田町のむさしの幼稚園さんで子ども園を開設していただいたり、多摩湖町の東大典保育園さんに

山の上からもうちょっと麓のほうに新しく保育園を建設していただいて、定員が30名だったところを40名増やして定員70名ということで、少しずつですが北西部地域でも今、保育園の充実を図っていたりしているところがございます。

それから保育園ではなく家庭で子育てをされる方について、今まではあまり支援がなかったのですが、子育て広場を開設したり、以前保健所だったところの2階に子育て総合支援センター「ころころの森」という大型の子育て広場を開設したりして、お気軽にいろいろなお子さんを遊ばせながらご相談をしていただくような体制も取ってきたりということで、この間、市の最重要施策の1つとして子育て支援施策の充実を図ってきたところがございます。そのことが今後少しでも人口増に結び付けられればなと考えているところがございます。

東村山市内にはお産をする病院は何箇所あるか？

(秋津町 Sさん)

◎ 市長回答 ◎

出産出来る病院は1箇所、あとは助産院が1箇所、2箇所ですね。

その辺をどうお考えでしょうか？

(秋津町 Sさん)

◎ 市長回答 ◎

実は今、日本で産科医自体が減少しています。というのは、医者として非常にリスクがあるわりに危険が伴って、変な言い方ですがあまり収入がないということでお医者さんの中でも産科を希望される方が非常に少ないというふうになっていて、1自治体の取り組みだけでは如何ともし難いところがありますので、今、市長会等を通じて国に産科医を増やして欲しいというお願いをしています。産科医だけではなく小児科医も慢性的に少なかったり、麻酔医も確保が厳しかったりということがあって、私どもも構成市になっている昭和病院でも同じような傾向があって、今その確保に努力しているところです。出来るだけ市内で出産出来るような体制をとれるように地道な努力をしていきたいと考えています。

◎ 子ども育成課・子ども総務課より ◎

東大典保育園は、近隣地に新たな園舎を建設し、移転するとともに定員を拡大する予定です。現在の進捗としましては、園舎北側の土地に園舎を建築するための基礎工事に取り掛かっており、平成25年秋頃を目標に整備を進めています。

認可保育所の整備のみならず、認証保育所などの認可外保育施設の整備も併せて行っておりますので、平成25年度の待機児童が大幅に解消されるものと期待しています。

また、在宅で育児をされている方々については、子育てひろばや子育て総合支援センター「ころころの森」等を通じて育児支援を行っています。

◎ 子育て支援課より ◎

当市も以前はお産の出来る産院等が1軒もなく、妊婦さんから産院についての相談が多かった時期がございました。公立昭和病院の充実を要望しつつ、現在市内で診療している産科医との連携を推進していきたいと考えております。



◆図書館の運営について

(秋津町 Aさん)

今年4月から東久留米市の図書館が指定管理で窓口等の業務が民営化になったが、佐賀県武雄市の図書館でレンタルソフト店などを全国展開している民間企業が指定管理者になってカフェも入ったりして、ほとんど喫茶店というか本屋というかレンタルDVD屋のようになっていろいろ話題になっている。指定管理にするといういい面と悪い面が出てくると思うが、東村山市では図書館に関してそういう指定管理をするというような予定はあるか。

◎ 市長回答 ◎

東村山市の図書館につきましては、現在、直営で運営させていただいております。図書館業務にあたっている者は全て市の職員ということです。全員が正職員ということではなくて嘱託職員もいれば臨時職員さんもいらっしゃるという状態で進めているところであります。ご指摘のように佐賀県の武雄市では大々的に民間会社に指定管理で運営をお願いしていて、経費の節減と公務員がやるサービス+αの様々な民間活力を導入してのサービスがあって、それが話題になっているということについては私も承知しております。多摩地区でも徐々に指定管理をしているところが増えてきているのも実態としてあります。ただ東村山市の場合は長年に亘ってこれまで公立図書館として果たしてきた役割や歴史があって、図書館の民営化については賛否両論あって、市として今の段階では直営をしながらも経費の節減と市民サービスの向上に向けた取り組みをしていこうという流れの中で図書館の事業を進めているところでございます。例えば開館時間の延長や今まで開館していなかった祝日等についても開館するとか、直営でありながら少しずつサービスの内容については増やしてきているという状況です。更なるサービス向上や経費節減ということになると民間活力の導入ということも1つの視野に入れながら、今後も長期的に検討させていただければと思っています。

実は市のスポーツセンターについては、昨年度から全て民間事業者指定管理をお願いしまして、東村山駅西口のサンパルネの中にありますスポーツジムを運営している東京ドームグループにスポーツセンターのほうも指定管理でやっていただいて、結果として開館時間が長くなったり、直営の時は毎週月曜日がお休みだったんですがお休みも基本的にはなくなって365日開館というようなことで、利用されている市民の皆さんにとっては利便性が上がっているところもありますし、逆に民間に切り替わったので前より使い勝手がちょっと悪いという苦情もないわけではないのですが、1年継続してまいりまして少しずつその辺の成果と課題を整理しながら、今後、指定管理を増やしていくのかどうかの参考材料にしたいというふうに考えているところでございます。

◎ 図書館より ◎

当市の図書館では、来館する方への貸出や調べごとへの対応のほか、障害者サービスや子ども読書活動推進計画に基づいた事業、多磨全生園等の地域との連携による情報の収集や提供などを実施しております。特に、学校等における図書活用に関わる相談受付や研修・支援、市内のさまざまな場所で行われる読み聞かせ等への延べ1000人ものボランティア派遣や育成など、他の所管や市民との連携により、地域の実情に応じたサービスを推進しています。

図書館における指定管理者制度導入についてはこうした各種事業の継続性が課題とされており、現状を踏まえた十分な検討が必要であると考えております。

## ◆国体の開催について

(恩多町 Mさん)

今年、東京で国体がある。そのことについて直接伺いたい。

### ◎ 市長回答 ◎

国体についてお尋ねいただきました。いよいよ今年、多摩地区を中心に東京都で54年ぶりに国民体育大会が開催されます。大阪で国体をやった時は『なみはや国体』というようなキャッチフレーズでやったんですが、東京の場合は全国障害者スポーツ大会も一緒にやるということで『スポーツ祭東京2013』という愛称で今年国体が行なわれる予定になっています。今回は23区でも一部競技が行なわれるのですが、多摩地区を中心ということで調布市にある味の素スタジアムをメイン会場にしまして、三多摩26市と西多摩の町等では全て競技が開催される予定になっています。実は東京で国体が開催されるのはこれで3回目なんですが、2回目の時は東村山市がクレー射撃の会場になっていたことがわかりまして、私は知らなかったのですが前は今の西武遊園地駅の近くに射撃場があったそうで、昭和15年に東京でオリンピックが行なわれる予定になっていたのですが戦争で駄目になってしまって、その時に射撃場となる予定だったそうです。実は東村山市内のこの多摩湖町にそういうものがあったということで、私もそこは勉強不足で今回初めて知ったのですが、そういう意味でいうと東村山市でも54年ぶりの大会開催ということになるのだろうというふうに思っています。東村山市では今年10月4日～7日にかけて、久米川町にありますスポーツセンターで少年女子（高校生女子）のバスケットボール大会を1回戦から決勝まで行うということになっておりまして、これまでスポーツセンターについては改修工事を含めていろいろ進めてきたところでございます。それと9月に富士見町の私立高校のグラウンドをお借りして、ニュースポーツなんですがティーボールというゴルフの大きいティーみたいなのにソフトボールぐらいの大きさのボールを乗せてやる野球みたいな競技なんですけれども、それをデモンストレーション競技として実施する予定になっています。高校生のバスケットボールは非常に人気が高いそうで、国体期間中恐らく全国から2万人ぐらい東村山市に来ていただけるのではないかとというふうに考えていまして、出来れば試合を見に来るだけでなく東村山の良さ、特にこちらの多摩湖町や野口町、北西部地域には自然や歴史遺産も数多くあるので、ぜひこちらのほうまで足を伸ばしていただけるようにPRに努めようということで今、取り組んでいるところでございます。ぜひ市民の皆さんにもそういう意味でご協力いただいて、全国から集まってくる選手や観客の皆さんをおもてなし出来ればなと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

### ◎ 国体推進室より ◎

今年、東京都で開催される第68回国民体育大会と都内で初めて開催される第13回全国障害者スポーツ大会の2大会をスポーツの夢と感動を伝える1つの祭典として表した大会愛称「スポーツ祭東京2013」です。国民体育大会は、正式競技37競技、公開競技3競技とデモンストレーションとしてのスポーツ行事57種目が平成25年9月28日から10月8日まで11日間に渡り開催され、

全国障害者スポーツ大会は、正式競技13競技などが平成25年10月12日から14日までの3日間に渡り開催されます。本市では、9月21日にデモンストレーション行事としてティーボール、10月4日～7日の4日間、市民スポーツセンターにおいてバスケットボール少年女子を開催いたします。バスケットボール競技の中でも一際人気の高い少年女子の部が予選から決勝まで開催され、大勢の来場者が市民スポーツセンターに訪れていただけるものと考えております。国体開催は本市にとっても「東村山市」を全国にPRできる絶好のチャンスであるとともに、「みんなでつくる、みんなのスポーツ祭」の理念のもと、小・中学校、各種市民団体、ボランティア、体育協会など協力団体など、多くの皆さまとの連携を深め、「スポーツ都市宣言東村山」に相応しい大会となるよう機運を盛り上げて参りたいと存じますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

## 【市長まとめ】

本日は長時間に亘りましてご参加いただき、誠にありがとうございます。今日はやはり西武線、多摩湖線のことがかかりお話として出ました。皆様の日常の足でございますので、私どももなんとしても存続いただくように最大限努力をしていきたいというふうに考えておりますし、急行の復活や増便等また具体的なご提案・ご要望もいただきましたので、それらを踏まえて西武さんにご理解いただけるように我々も頑張っていきたいなと思っております。それから駅のバリアフリーの問題等々、宿題になっている部分はまだありますので、それらについてもしっかり受け止めて多摩湖町の市民の皆様「この多摩湖町に住んで良かったな」と思っただけのように我々も努力していきたいと思っております。先ほど申し上げましたように国体、それから狭山公園等を活用した観光事業等で盛り上げて、何とか「多摩湖線がないと困るよ」と多くの方に思っただけのような取り組みも同時並行で行なっていきたいと考えておりますので、その節にはまたご協力のほどよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

市民と市長の対話集会  
第66回  
タウンミーティング記録集

発行 平成25年6月  
東村山市役所市民部市民協働課  
東京都東村山市本町1丁目2番地3  
TEL 042(393)5111  
(内線2563、2564)